

令和3年6月29日
205 議室

令和3年第2回
立川市教育委員会臨時会

立川市教育委員会

令和3年第2回立川市教育委員会臨時会

1 日 時 令和3年6月29日(火)

開会 午後 5時00分

閉会 午後 5時10分

2 場 所 205会議室

3 出席者

教育長 小町 邦彦

教育委員 伊藤 憲春 嶋田 敦子

小林 章子 石本 一弘

署名委員 伊藤 憲春

4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長 大野 茂 教育総務課長 小林 直弘

指導課長 前田 元 統括指導主事 寺田 良太

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係 笹原 康司 柏崎 彩花

案 件

1 協議

- (1) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の「学校連携観戦プログラム」への参加見送りについて

2 その他

令和3年第2回立川市教育委員会臨時会議事日程

令和3年6月29日

205会議室

1 協議

- (1) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の「学校連携観戦プログラム」への参加見送りについて

2 その他

◎開会の辞

○小町教育長 ただ今から、令和3年第2回立川市教育委員会臨時会を開催いたします。

署名委員に伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 はい、分かりました。

○小町教育長 よろしく申し上げます。

本日は、協議1件でございます。その他は議事進行過程で確認をいたします。

出席者の確認をいたします。大野教育部長、お願いいたします。

○大野教育部長 本日第2回立川市教育委員会臨時会への出席管理職でございます。教育部長、教育総務課長、指導課長、寺田統括指導主事でございます。

◎議 案

協議(1)東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の「学校連携観戦プログラム」への参加見送りについて

○小町教育長 それでは、1協議(1)東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の「学校連携観戦プログラム」への参加見送りについてを議題といたします。

前田指導課長、説明をお願いします。

○前田指導課長 それでは東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の「学校連携観戦プログラム」への参加見送りについてご説明いたします。

令和3年6月21日に大会組織委員会からオリンピック競技大会に係る観客数の上限人数が発表されました。

学校連携観戦については別枠で実施をということが示され、資料にありますように、希望している全ての児童・生徒の観戦が可能というふうに示されているところでございます。

本市といたしましても、これまで、子どもたちにとって貴重な機会であるとの認識であり、連携観戦についてできる限りの可能性を探ってきたところです。

しかしながら、現在、東京での感染者数が増加傾向であり、感染力が強い変異株の割合が増え、感染のリスクが高まっていること、東京都からは学校の引率体制の拡充等が示されており、指示されている公共交通機関の利用の中では十分な感染症対策を取ることが難しいこと、マスク着用が必須の中での熱中症対策の十分な確保が難しいこと、さらには小・中学校長会からの要望、立川医師会からの見解等を踏まえまして、児童・生徒の安全確保は難しい局面があるということから、学校連携観戦を見送りにしたいということを考えております。

オリンピック・パラリンピック教育については、その意義等も含め、タブレットPC等の活用などにより、各学校で工夫して取り組むことができるよう、校長会等を通じて伝えてまいります。

よろしくご審議いただき、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

説明は以上です。

○小町教育長 説明ありがとうございました。これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

伊藤委員。

○伊藤委員 ご説明ありがとうございます。私も、今ご説明があったように、お話に全面的に賛成というように考えております。よろしくをお願いいたします。

○小町教育長 ほか、ございますか。

嶋田委員。

○嶋田委員 ご説明ありがとうございます。私も、やはり見送りということで正直ほっとしています。電車であつたり、競技場の出入りのところ、お手洗いであつたり、そういうところで密になることが予想されますし、また、海外の関係者やメディアと接触しないとも限らないので、やはり、子どもたちや保護者は不安な気持ちを持っていた人が多かっただろうと思いますので、全面的に賛成いたします。よろしくをお願いいたします。

○小町教育長 ほか、ございますか。

小林委員。

○小林委員 今ご説明いただきまして、やはり参加見送りの理由もお話していただきましたので、児童・生徒の安全ということが一番に考えた場合は、見送りが致し方ないのかなというふうに思います。ただ、本当に残念で、今までずっとこれに関して子どもたちが学んできたこともたくさんありますでしょうし、また楽しみにしていたと思うんですね。そういうことを考えると残念で仕方がありません。

私も前の東京オリンピックは小学生で、今日もちょっと知人と話をしていたんですけども、その人はクラスで2人しか行けないのにオリンピックに観戦に行ったと言って、いまだにその印象がとても大きくて思い出に残っているという話をしていました。

こんなことを言っても意味がないんですけども、やっぱり、本当に見るのとテレビで観戦するのと印象が違うので、本当は見せてあげたかったなという気持ちは強いです。ただ、見送ったからには、今までのやってきたことを無駄にしないように、どういうふうにしたら子どもたちにとってオリンピックがよい影響として受け止められるかということ、大人たちで考えていかなければいけないというふうに思います。よろしくをお願いいたします。

○小町教育長 石本委員。

○石本委員 私も前回の東京大会を目の当たりにした子どもでございます。ここにいらっしゃる方は皆さん、かなうことなら連れて行ってあげたいなという思いはいっぱいだと思いますけども、ご説明があつたとおり、子どもたちの安全のために、苦渋の決断と言いますけど、医師会も言っている、校長会でもこうせざるを得ないというご判断とと思いますので、全面的にそのようにしていただければというふうに思います。よろしくをお願いいたします。

○小町教育長 ありがとうございます。

今、本日476人の感染が判明したということで、1週間前より41人増えているということ

です。500 を超えると 10 万人当たりの人数としてはデッドラインを超えてくるという話を、昨日も東京都の緊急会議でしておりました。

そういったものも含めまして、今後増減しながら、多分、患者数というのは推移していくものだというふうに思うんですけども、ただ、これは学校行事の一つですので、われわれはしっかりと安全を確保する。もちろん、遠足に行くのでも社会科見学に行くのでもしっかりと下見した上で、その安全にしっかりと確信を持って子どもたちを連れて行くというのが学校行事の基本だなというふうに私は思っています、その基本に立ち返ると、今の状況では、特に安全に関して不透明なことが多過ぎるということで、これでは学校としても安心して親御さんに「行ってまいります」と言えない状況じゃないかなというふうに私は思いますし、教育委員会としても、そういう不安の声を、しっかりと逆に支えていかなくちやいけないのかなというふうに思っています。

小林委員からもお話があったように、今まで学んだことは学んだこととして、これからもさまざまな学び方ができるかなというふうに思っています。ICT もうまく交えながら、子どもたちが決してマイナスのイメージでオリンピックを捉えるのではなくて、オリンピックって本来何だということも含めて学べる、大いに学べる場じゃないかなというふうに思っていますので、直接会場に行くという学びはできないんですけども、違う意味での学びというのは、私はたくさんできるんじゃないかなというふうに思っています。

それは、学校での取組が、まさに創意工夫かなというふうに思っていますし、教育委員会としてもそれをしっかりと支えていきたいなというふうに思っています。

本日は、この臨時会ということで急きょお集まりいただきまして、どうもありがとうございます。

それでは、ほか、ございますか。では、ないようでございます。

それではお諮りいたします。1 協議の (1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の「学校連携観戦プログラム」への参加見送りにつきましては、提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○小町教育長 では、異議なしと認めます。よって、協議の (1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の「学校連携観戦プログラム」への参加見送りについては承認されました。

○小町教育長 次にその他に入ります。その他はないようでございます。

◎閉会の辞

○小町教育長 以上をもちまして本日の臨時会の議事は全て終了いたします。

午後 5 時 10 分

署名委員

.....

教育長